ReviewMaster™ 紹介資料

AI技術を活用した ドキュメントレビューシステム

効率的で高品質なドキュメント作成をサポート

目次

- 1. ReviewMasterとは
- 2. 従来の課題と解決策
- 3. 主な機能と特徴
- 4. 利用シーン・対象業界
- 5. 基本的な使い方
- 6. 導入メリット
- 7. セキュリティ・信頼性
- 8. システム要件
- 9. まとめ

ReviewMasterとは

AI駆動のドキュメントレビューシステム

- 最新AI技術を活用した自動レビュー機能
- **手動レビュープロセス**の効率化を実現
- **高品質なドキュメント作成**をサポート
- セルフホスティング型でセキュアな運用

従来の手動レビューを革新し、品質向上と時間短縮を同時に実現

従来の課題

ドキュメントレビューでこんなお悩みありませんか?

- 👤 レビュアーが忙しくレビュー時間確保が困難
- ① 体裁などの指摘が多く本質的な内容に時間がとれない
- ジレビュアーによって指摘の品質にばらつきがある
- 🔁 同じような指摘を何度も繰り返す
- 🔐 レビュー結果の管理が煩雑

ReviewMasterが提供する解決策



🔐 AI自動レビュー

手動レビューの時間を大幅短縮



■ 専門知識活用(RAG連携)

組織固有の知識を活用したレビュー基準のテーラリング



| 手動レビューとの統合|

手動でのレビュー指摘追加なども実装しAIレビューと統合管理

主な機能1 - AI駆動のレビュー

◎ 自動レビュー機能

- 最新AIモデルを使った指摘と修正案の提示
- PDF、Word、Excel、テキストファイルなどに対応 ※デモ版はExcelのみ
- カスタムプロンプトで個別のレビューリクエストを設定可能

❷ 修正後確認機能

- 修正されたドキュメントの再レビュー
- 修正状況の自動判定と品質確認
- 修正履歴の追跡管理

ReviewMaster™ - AI駆動型ドキュメントレビューシステム

3機能 4業界 5使い方 6メリット 7セキュリティ 8要件 9まとめ

主な機能2 - RAG連携



専門知識の活用

- ユーザーが作成したナレッジベース(Bedrock Knowledge Bases)とAIを連携
- 組織固有の基準に基づいたレビューの実施

あなたの組織が保有する専門知識をAIが活用

主な機能3 - 直感的な管理

■ 表形式でのレビュー結果表示

- 各指摘の修正状況(ステータス)をサマリで確認
- レビュー対象をプロジェクトとカテゴリに紐づけて管理
- Excel形式でのレビュー結果ダウンロード

手動編集機能

- 手動での指摘追加や既存指摘のステータス変更が可能
- レビュー内容の更新・編集が可能(AI指摘に対するコメント追加)

利用シーン・対象業界



技術文書、仕様書、設計書のレビュー

製造業

品質管理文書、手順書のチェック



コンプライアンス文書、報告書の確認

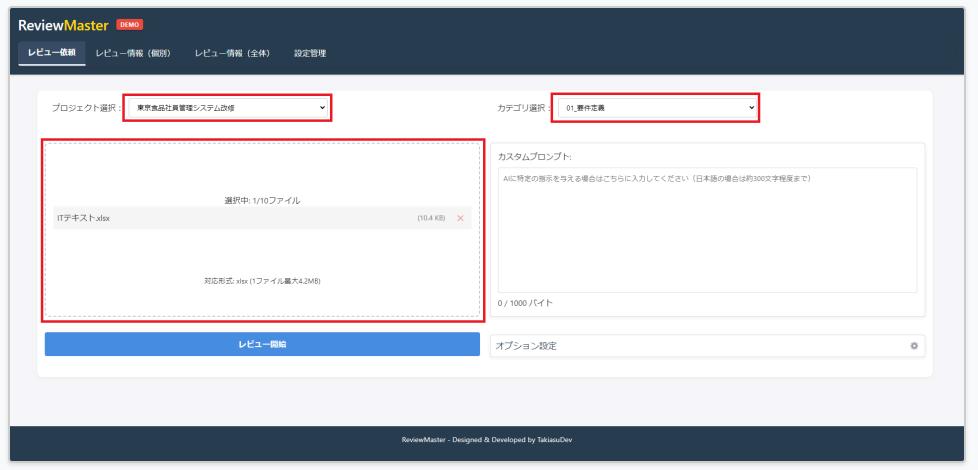


電子ファイルを用いたドキュメントレビューが発生する全ての業界

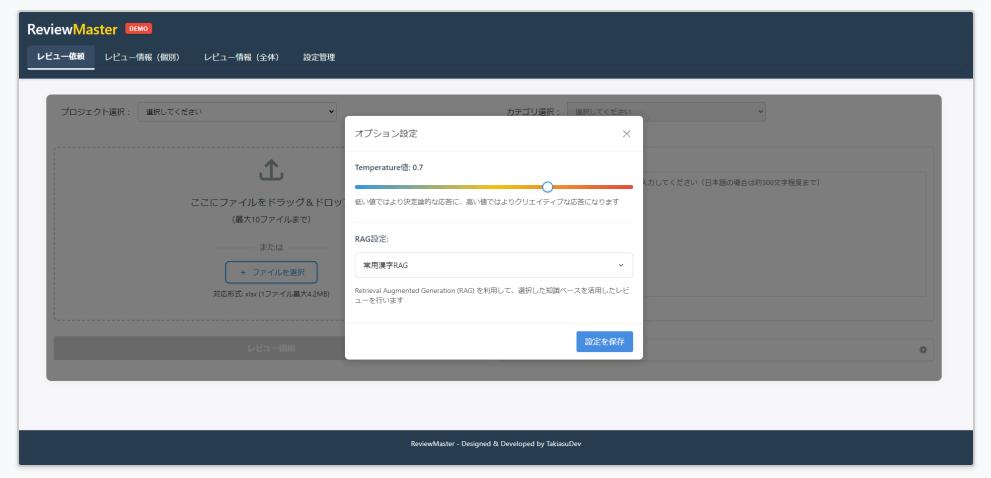
1 システム構築完了後に提供される接続用URLにアクセス



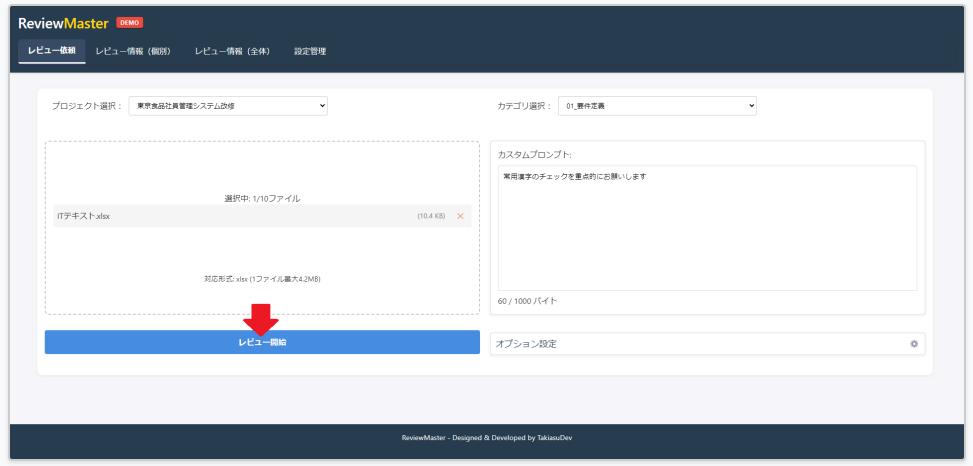
2 プロジェクトやカテゴリを指定しドキュメントを選択



3 必要に応じてカスタムプロンプトやRAG設定を調整



4 AIによる自動レビューの実行



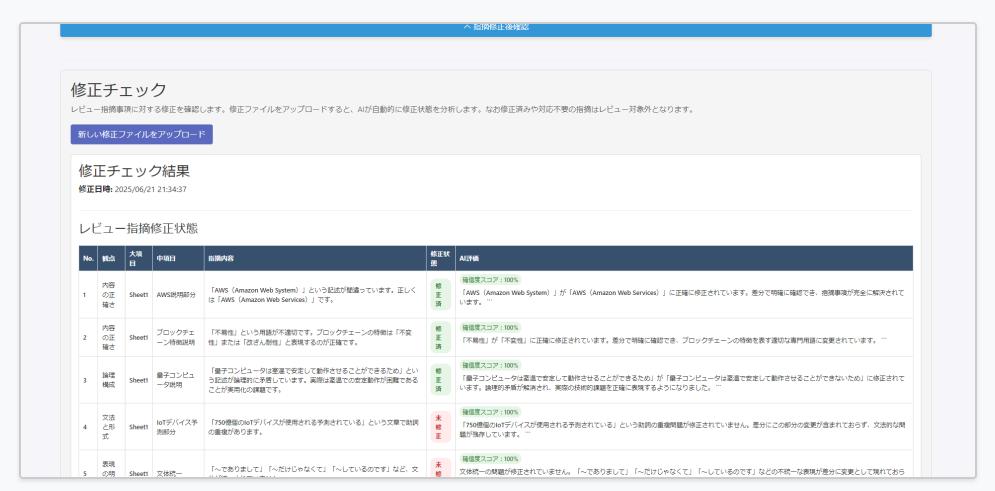
⑤ 結果の確認と必要に応じた手動編集



6 修正作業とレビュー後修正ファイルの再レビュー



7 再レビュー結果確認 ※以降すべて『修正済』になるまで修正作業を続ける



導入メリット - 効率性

★ 大幅な時間短縮

- 従来の手動レビュー時間を削減
- 24時間365日いつでもレビュー実行可能
- 複数ドキュメントの並行レビュー

★ 人的リソースの最適化

- レビュアーの負担軽減
- 専門家は最終確認や本質部分に集中
- チーム全体の生産性向上

1 概要 2 課題 3 機能 4 業界 5 使い方 6 メリット 7 セキュリティ 8 要件 9 まとめ

導入メリット - 品質向上

◎ 一貫した品質

- AIによる客観的で一貫したレビュー
- 人的スキルによる品質影響軽減

✓ 継続的改善

- レビュー履歴の蓄積と分析
- 組織固有の知識の活用

セキュリティ・信頼性



● セルフホスティング型

利用ユーザーのAWS環境内で完結 ※構築に必要なIaCコードとデプロイスクリプトも提供

- SaaSなどの外部サービスへのデータ保管なし
- 組織の情報セキュリティポリシーに準拠

多層セキュリティ

- HTTPS通信の強制
- CORS、APIエンドポイントに対するアクセス制御(IP制限)
 - ※WAFなどの利用もユーザ側のポリシーに準拠した適用を推奨

システム要件



AWS環境

- AWSアカウントが必要
- Amazon Bedrock利用可能リージョン 推奨:ap-northeast-1(東京リージョン)

■ クライアント要件

- 対応ブラウザ: Chrome、Firefox、Safari、Edge
- ネットワーク: HTTPS通信(443ポート)

AI要件

• Amazon Bedrock (Claude 3.5 Sonnet V2以上を推奨)

まとめ

ReviewMaster™で実現できること

- ✓ レビュー時間の大幅短縮
- **専門知識を活用**したカスタムレビュー
- セキュアな環境での安全な運用
- 直感的な操作で誰でも簡単に利用

ドキュメント品質向上と業務効率化を同時に実現

Appendix - システムアーキテクチャ

注 フロントエンド

- Cloudfront + S3
 - React 18 + TypeScript
 - Tailwind CSS

☆ バックエンド

- AWS Lambda
 - Python 3.12
- Amazon API Gateway

冒 データストレージ

- Amazon DynamoDB
- S3
- 🔐 AI・機械学習
- Amazon Bedrock
 - Claude 3.5 Sonnet V2 _{※ユーザ側で選択可能}

ありがとうございました

ReviewMaster™

AI技術を活用したドキュメントレビューシステム